

PROTO LAB は、『次の売れるデザイン』に出会える、特別な空間です。

まだ製品化されていないプロトタイプモデルの発掘や、デザインの業務委託、デザイナーとのコラボレーションが可能です。

本年度のテーマは、イス・照明・スピーカー・ダストボックス・防災グッズ。ぜひご来場ください

※ まだ製品化されていない『プロトタイプモデル』の発掘ができます。

※ デザインの業務委託やデザイナーとのコラボレーションが可能です。

例えば…プロトラポで発掘したプロトタイプモデルを、貴社の技術を活かし「製品化」したり、デザイナーとのコラボレーションにより、貴社製品に新しいデザインを取入れられます。

参加デザイナー (2011年5月27日現在・敬称略・50音順)

●市場 純生
【イチバデザインスタジオ】
●伊藤 洋平【伊藤家具デザイン】
●越智 典
【ZENTEN デザイン事務所】
●笠原 嘉人【笠原嘉人アトリエ】

●加藤 太一【MADE IN ART】
●金指 博文【ゼロラボ(株)】
●酒井 篤志【GRAVITY】
●佐藤 賢幸
【佐藤賢幸デザインビューロー】
●清水 忠男【デザインスタジオ TAD】

●清水 泰【工房YASUSHI】
●鈴木 博子【アトリエ・ヒロ】
●園部 竜太【ソノベデザインオフィス】
●外岡 和雄【トノクラフト(株)】
●根津 孝太【(有)znug design】
●橋田 規子

●細田 彰一
【NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY】
●森 一樹【KAZUKIMORIDESIGN】
●八木 啓太【Bsize】
●八木 崇【chack】
●山内 真一【クリクリ】

イス部門 CUO Chair × TADY



CUO Chair × TADY

以前に発表した「CUO Chair」の座面を、レザーカービング界の巨匠TADYとコラボレートした事により、他に類を見ない造形美の骨格と、他に類を見ない装飾美の座面を持ち、圧倒的な存在感により、更なる空間の美を演出します。(今回は和柄をテーマに採用)

CUO Chairとは工業用の特殊な技術で半円形に曲げられた、直径101.6mmのステンレスパイプ4本で構成されたイス。太い径を採用する事で、金属の柔らかさや暖かみを表現し、かつ視覚効果により見る角度によって形が変わって見えるイス。

H 840mm ×W 800mm ×D 800mm



越智 典【ZENTEN デザイン事務所】

2006年個人事業主「ZENTENデザイン事務所」を新宿区にて設立
フリーランスデザイナーとして活動し、家具を中心としたデザインを発信中
また映像制作・グラフィックデザイン等多分野に渡りデザインを請け負う
現在は東京杉並区に移転し活動中
学歴 私立育英工業高等専門学校デザイン工学科
武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科

イス部門 Two Slits



スタッキングチェア「Two Slits」

アルミは再生利用可能な素材であり、軽量であるという魅力を持っているが、応力次第では変形しやすいという難点もある。このデザインでは、一枚のアルミ板を曲げて積み重ね椅子の背と座を一体化させるという単純な構成をとりながら、寄りかかり付加による変形を避けるため、曲げ部分にスリットを入れ、プレスによって生じるフランジによって強度が得られる方法を試みた。(商標・意匠・特許申請中)

H 750mm ×W 400mm ×D 400mm



清水 忠男【デザインスタジオ TAD】

製品・環境デザイナー
クラシック美術大学院修士課程修了、剣持デザイン研究所、パーティックグループ主任デザイナー、ワシントン大学美術学部助教授、千葉大学工学部・大学院教授を経て、デザインスタジオTAD代表。
博士(工学・東京大学)。環境、福祉、地域活性化をテーマとした幅広いデザイン活動を展開。国内外で多数のデザイン賞を受賞。

イス部門 ランファンネスト



椅子に座って見る、読む、書く、聴く、発声する、をパーソナルなものにとらえ、究極の座を考えた。自分の回りを蔽うことによって集中力が驚異的に増すことができた。発明的な座空間を提案する。

H 1480mm ×W 1800mm ×D 1870mm



外岡 和雄【トノクラフト(株)】

武蔵野美術大学卒
ヤマハ発動機(株)
トノクラフト(株)設立
日本発成型サーフボード、ウィンドサーフィンボード、パジェロルーフトランク(ネスト)、モーターボート、照明、椅子等の製造販売、TBSひるおびで椅子と照明がスタジオで採用される。

イス部門 OW1



帯のような形状をした一枚のフェルトシートを折り曲げることに、スツールの形状を決め、その後に樹脂を含浸させることでフェルト特有の厚みを構造体として利用し強度を持たせました。形態の論理を、「矩形という簡潔な形状を折る」というシンプルな所作に委ねることにより、デザインの成り立ちの明快さを目指しました。2006年 ドイツ RED DOT AWARD DESIGN CONCEPT 受賞作品です。

H 500mm ×W 500mm ×D 500mm



佐藤 賢幸【佐藤賢幸デザインビューロー】

デザイナー・建築家 1972年東京生まれ 1998年 早稲田大学理工学部建築学科卒業 建築設計事務所勤務後、2005年 「佐藤賢幸デザインビューロー」設立。現在、建築設計、家具、プロダクトデザインの分野で活動しています。主な経歴として、2003年に作品「NORM」で東京デザイナーズブロックFRAME AWARD、2006年に作品「OW1」でドイツORED DOT AWARD DESIGN CONCEPT、2008年にデザインディレクションと、設計を共同で担当した、「新天町商店街時計塔前アーケード(通称サンドーム)」が第22回福岡市都市景観賞を受賞しております。

イス部門 「粋」



シンプルチェア「粋」

日常の食事や作業に適したシンプルチェア。一つ一つの部材を極力簡素化すると共に、直線と曲線のバランスと座面の傾斜をアクセントにし、背と座の材を変えてまとめました。すっきりしたフォルムの中に変化を付けたイスです。座面高は400mmと低めで日本人に合うサイズです。

材:タモ、ウォールナット H 725mm(SH400) ×W 450mm ×D 425mm



清水 泰【工房YASUSHI】

2002年 山梨に工房YASUSHI開設
2005年 朝日現代クラフト展入選
2007年 朝日現代クラフト展入選
2009年 日本クラフト展、高岡クラフト展入選
2010年 日本クラフト展、高岡クラフト展入選

イス部門 jellyfish - 水に座るスツール -



LEDと水槽を内蔵したスツール。「座る」という自然な動作で、驚くほど美しい水の波紋が床にうつし出され、あたかも水の上に座っているかのよう。自然を身近に感じていただくための家具。2011年1月 パリMaison et Objet 'now!' 経済産業省ブース JAPAN DESIGN +に出選。

H 450mm ×W 450mm ×D 450mm



根津 孝太【(有)znug design】

1969年東京生まれ 千葉大学工学部工業意匠学科卒業
トヨタ自動車(株)を経て、05年(有)znug designを設立
トヨタでの代表作はコンセプト開発リーダーを務めた愛・地球博の「i-unit」 現在は自動車をはじめとする工業製品のコンセプト企画とデザインを手がけながらミラノサローネや100%デザインなどで作品を発表
グッドデザイン賞、ドイツIFデザイン賞、他多数受賞

イス部門 Bio Stool (バイオスツール)



土壌調査のコアをモチーフにしたスツール。FRP成型で用いる補強ガラスをつかわず、繊維にバイオマスを使用しているエコロジーな素材。それぞれの層には異なるバイオマスを使っている。自然素材ならではの目にやさしい色合い。製造過程で金型を使用しない省エネルギーなハンドレイアップ製法。

H 500mmとH 400mm ×W 320mm ×D 320mm



橋田 規子

東京芸術大学デザイン科卒業後、TOTOデザインセンターにて便器、水栓金具、浴槽などのデザインに従事。
2008年NORIKO HASHIDA DESIGN設立。IPEC Designers Show Case優秀賞
2005年Couch Bath、2009年Wave Chair。
2009年岩谷マテリアルBew Kichen Trayグッドデザイン賞
2010年Retto Bath Chair、他

イス部門 Ridge Agura (リッジ アグラ)



日本人の「座り」のスタイルを考えて設計された。着座点及び視点を低くし、座面上であぐらをかける幅をとった。和室の畳に置いても畳が傷まないような形状の脚としている。新しいテイストの「和家具」としてのデザインを試みた。

H 573mm ×W 670mm ×D 600mm



笠原 嘉人【笠原嘉人アトリエ】

1961年生まれ。
1985年:武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科木工コース卒業
漆芸家に師事。
1986年:インテリアデザイン設計事務所勤務。
1996年:笠原嘉人アトリエ設立
2008年:「第6回暮らしの中の木の椅子展」入選(2作品)

照明部門 ディムライト dimlight



日本古来の行灯を思わせるような、優しい光を放つスタンドです。上下に二分されており、そのトップ部分を上下逆に使い分けると、形状の変化と共に光の感じも変わります。同素材(磁器同士、色ガラス同士)で作っても、異素材(磁器と色ガラス等)と組み合わせても面白いテイストが表現出来ます。また、デザイン、テクスチャーによって光の様子も変化し、生活の中に楽しさのエッセンスと共に、見る人・使う人にもホッとする優しさを提供できるものと思います。

H 360mm ×W 190mm ×D 190mm



鈴木 博子【アトリエ・ヒロ】

ジュエリーデザインを専門学校にて学び、その後、故・菱田安彦氏に弟子入りする。コーディネーターとして、スイスの染料会社と契約、インテリカラーの情報を基にプレゼンターとして仕事をする。
契約デザイナーとして、国内企業にて、ジュエリー初め、インテリア小物、テーブルウェア等のデザインを手がける。
2009年11月 第5回個展。

照明部門 STROKE



最高の光
演色性能の国際指標として最高ランクの1Aを実現。これは、色に厳格な色検査や美術館の照明にも用いられる、最高水準の光。自然光の下で見るとモノ本来の色を、忠実に照らし出すデスクライトである。

最小の構造

高輝度LEDと駆動回路とを微小空間に実装し、モノパイプ管体を実現。ユーザーのデスクワークを妨げない最小限の照明器具を目指した。また、電力入力光出力に変わる一連の機能を、一筆書きの筐体で表現した。

H 540mm ×W 550mm ×D 190mm



八木 啓太【Bsize】

Bsize代表/デザイナーエンジニア
1983年生まれ
大阪大学大学院修了。電子工学を専攻。富士フィルム株式会社就職し、医療機器の機械設計に従事。デザインを独学し、2011年、Bsize設立。
受賞歴に、Dyson Design Award、Good Design 賞 他

イス部門 Aria



「Aria」とはイタリア語で「風」という意味。成型合板で包み込むような温かいフォルムは、背面を大きく開けたことにより、座ると心地良い風が吹いてきそうなアームチェアです。

サイズ検出中



森 一樹【KAZUKIMORIDESIGN】

栃木県生まれ。国土大学建築学科を経て、「文田昭にデザインオフィス」入社。その後、「光井純&アソシエツ建築設計事務所/ペリ・クラーク・ペリ・アーキテツク・ジャパン(旧シーザー・ペリ・アーキテツク・ジャパン)」入社。物販・飲食などの店舗内装デザイン、大手不動産デベロッパーマンションや商業施設の外装・内装デザイン、展示会デザイン、アートディレクション、コンペなどを担当。2009年「KAZUKIMORIDESIGN」設立。
内装設計を主にプランニングを意図した空間・プロダクト・広告・CI/VIなどポスターレスにデザインしている。
Tokyo Designer's Week プロ展の展示会などにも出展。ご連絡はこちらまで info@kazukimoridesign.com

照明部門 FISHADOW



「光の中を魚が泳いだら…」そんなアートから生まれました。魚たちが遊び泳ぐ姿が影となってスクリーン(テーブル天面)に浮かび上がります。光に加えて影の美しさを表現した照明テーブルであり、幻想的な空間を作り出します。光と影のアートを照明デザインに取り入れたもので、デザインの枠を超えたプロダクトです。技術的にも光学性能や生産性まで考慮した設計が完成されており、受注生産による販売をスタートできます。

H 400mm ×Wφ 543mm ×Dφ 543mm



加藤 太一【MADE IN ART】

1981年北海道生まれ。北海道大学大学院宇宙環境応用工学卒業、技術者として電機メーカーに入社。カメラの技術者でありながら、独学でデザインやアートを追求し、独創的な作品を発信中。
家具は光を中心にした作品が多く、学生時代から数多くの雑誌に掲載。在任の逗子では、夕日フォトグラフィアや漂流物アーティストとしても注目を集める。アートから生まれたプロダクトを作り出す「MADE IN ART」というプロジェクトを立ち上げ中。

照明部門 YAMA



LEDを使用した消灯時には光源が分かりにくい、薄く・軽快なイメージを有する、従来に無いペンダント照明器具

第3回エコ・プロダクツデザインコンペ・グランプリ受賞作品
http://compe.osaka-design.co.jp/2009/winner/index.html#1-1

H 800mm ×Wφ 500mm ×Dφ 500mm



園部 竜太【ソノベデザインオフィス(照明設計)】

照明空間設計・照明器具設計事務所です。人・物・空間を「最適なあかり」で結びつける。その最適解を探して表現する仕事をしています。
1990・京都芸術短期大学卒業(現・京都造形大) 1990・照明メーカー小泉産業(現・コスミ照明)入社・各種照明設計に携わる 2002・小泉産業退社・以後フリーで活動
ソノベデザインオフィスHP: http://members3.jcom.home.ne.jp/sonoryu/Site/SonobeDesign.html
Mail:sonoryu@jcom.home.ne.jp

照明部門 manu_sa / マヌーサ



樹種の違う木をランダムに配置し、木目でパッチワークを表現しています。コンセプトは「ノスタルジック感」。ユーズド家具、アンティーク家具の様に使用して出てくる風合いとは違い、視覚からその感覚を感じ取れるよう意識したモノづくりを行いました。

H 180mm ×W 160mm ×D 160mm

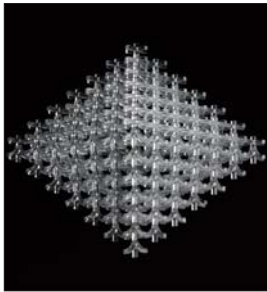


八木 崇【chack】

1980 岡山生まれ
2002 宝塚造形芸術大学造形学部産業デザイン学科卒業
2002-3 家具工房humana勤務
2004-5 有限会社デイ・ステーション・ミル勤務
2005-8 OWAS.inc勤務
2008 個人名義で「Chack」として活動開始

照明部門

KI



私たちが日頃、何気なく用いている漢字は、深い意味、奥行きのある形の広がりをもつものが数多く存在しています。様々な思いや願いが、多くの人の手を渡り、形を整え、洗練されてきたのです。
先人からつながる思いの時の流れの中に、私という生命体が、自らの存在をここに刻めないかと考えました。
今回モチーフにしたのが「木」という漢字。
エネルギー溢れる「木」の力を光として表し、またオブジェから漏れる「木漏れ日」の影が空間を美しく作り出します。

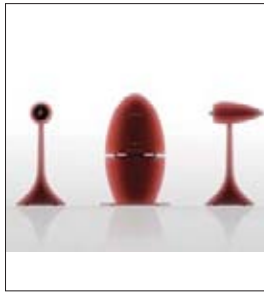


山内 真一 [クリクリ]

1Fショップ、2F教室、3Fアート企画室からなる、神戸の小さなおもちゃ屋。
楽しくなる、コト、モノ、バを提供していきたいと営業中。
定休日は水曜日。

スピーカー部門

アクティブスピーカー 'KODAMA'



音のもつダイナミズムの形態化をデザインのテーマとしました。音楽のもつ高揚感、象徴性を張りのある形で表現しています。3つのユニークな形がこだまし合いながら、空間の心地よさを醸し出します。

H 30mm xW 90mm xD 90mm



市場 純生 [イチバデザインスタジオ]

武蔵野美術大学 造形学部工業デザイン学科卒
GKインダストリアルデザイン研究所において、プロダクトデザイナーとして製品コンセプト、製品デザイン開発を手がける。日産自動車株式会社デザイン本部において、デザイナーとしてインテリアデザイン、カラーデザイン、デザイン企画、デザイン戦略、ブランドマネジメントを担当する。
2008年、イチバデザインスタジオ設立。

スピーカー部門

合掌



合掌の美しさは日本の美しさ。手を合わせた姿の美しさ、またその形から名づけられた白川郷などで有名な合掌造りの建築物も日本独特の美しさを感じられます。耳から入る心地よい安らぎを与えてくれるスピーカーに合掌の美しさ加え、目と耳から安らぎを与えてくれることでしょう。

H 280mm xW 260mm xD 180mm



伊藤 洋平 [伊藤家具デザイン]

1975年東京生まれ。1996年より2002年まで英国のRycotewood College, University of Wolverhamptonにて家具デザイン及び制作を習得。帰国後、2004年に伊藤家具デザイン/Ito Furniture Designを設立。オリジナル、注文、プロトタイプ家具のデザイン及び制作を行う。同年4月より日本工学院八王子専門学校プロダクトデザイン科、2008年~2010年まで飛騨国際工業学校非常勤講師を務める。2010年1月に家具のデザインと制作技術を学べる学校八王子現代家具工芸学校を設立。

スピーカー部門

mugbug



マグカップを利用したおしゃれな小型スピーカの提案です。好きなマグカップと合わせて楽しんで下さい。陶器の素朴な質感に、転がり防止を兼ねたかわいいうスピーカグリップを組み合わせたことでできる甲虫のようなフォルムが自分だけの空間を楽しく演出します。

H 150mm xW 100mm xD 150mm



細田 彰一 [NIPPON INSTITUTE OF TECHNOLOGY]

株式会社INAXにおいて主にユーザーインターフェースデザイン、福祉関連事業企画に関わる。現在は日本工業大学機械工学科プロダクトデザインコース所属。住宅設備機器やインテリア小物のデザインを行っている

ダストボックス部門

DROP stool & dust box



DROP (鉛)をイメージした座面に、ゴミをDROP (落下)します。
座部はダストボックスの蓋となり、かぶせたゴミ袋のフチを隠します。

H 420mm xW 350mm xD 350mm

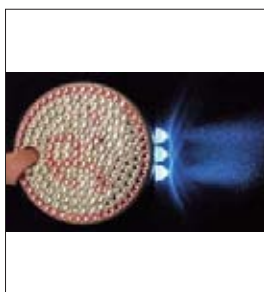


酒井 篤志 [GRAVITY]

桑沢デザイン研究所卒。近藤康夫デザイン事務所、キュリオシティ勤務後独立し、2007年GRAVITY設立。空間、プロダクト、グラフィックなど領域を超えて活動中。
08年九州温泉旅館客室デザインコンペティション優秀賞。09年DESIGNTIDE出展。10年富山プロダクトデザインコンペティション入選(ファイナリスト)。

防災部門

amuleto / お守り



クールに持ち歩ける『IDタグ&ペンライト』
防災グッズに多く見られる割り切ったデザインやクオリティに疑問を持ち、また非常事態は突然訪れますので、普段からアクセサリ的に身につけるアイテムをと考えました。(身元が分かるIDタグとボールペン、LEDライトをコンパクトに且つスタイリッシュにまとめ、アクセサリの様な防災グッズを提案致します。

サイズ検討中



金指 博文 [ゼロラボ(株)]

1970年 大阪府生まれ。デザイン専門学校卒業、照明器具メーカーの企画開発、デザインを担当として勤務した後、金属精密切削加工を得意とする企業に入社。旋盤加工を中心にした金属製ステーションナリーの企画、製造、販売する事業を展開。よりクリエイティブな活動を行う為に2010年12月にゼロラボ株式会社設立し現在に至る。社団法人総合デザイナー協会(DAS)理事、創造社デザイン専門学校非常勤講師を務める。

防災部門

PKD Vaccine Refrigerator



今や、伝染病の発生は世界中で起こり得る深刻な災害である。特に、開発途上国では保健機能が未成熟な場合が多い。

これは、PKD(Peace-Keeping Design)という活動におけるワクチン接種の新しいシステムデザインである。



川崎 和男 [デザインディレクター 兼 大阪大学大学院 教授]

インダストリアルデザイン、プロダクトデザインを中心とし、デザインディレクターとして伝統工芸品からメガネ、インテリア用品、機械実装設計やコンピュータ開発まで幅広くデザイン活動を行う。国内・海外デザイン賞を多数受賞。ニューヨーク近代美術館をはじめ、海外の主要美術館に永久収蔵・永久展示多数。



問合せ先

DESIGN TOKYO 事務局

ゼロラボ担当: 上嶋・坂本 リード エグジビション ジャパン株式会社

〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18階

TEL: 03-3349-8505 FAX: 03-3344-2400 E-mail: p-labo@reedexpo.co.jp